

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 杉本 修一郎 (安國庫生)	内線	4003 (4016)
------	-------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	
		基盤整備促進事業 (担い手育成型)	津名御所地区	320 百万円	
所在地				着工予定年	完成予定年
津名郡津名町中田御所				13	16
事業の目的			事業内容		
小区画・不整形の本地区を整備し、集落営農による担い手への集積を図ることにより、効率的な農業経営、持続的な農業を目指す。 津名町に対し、補助していく。			区画整理 12.7ha 事業主体：津名町		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	10a当たりの年効果額212千円/10aと高く、営農時間についても19hr/10aと短い。農地の集積・連担化を図ることで作業効率を高め、担い手を育成することに大きく寄与できることから事業を施工する必要がある。 予定区域内を縦断する主要河川(水路)に面するほ場は、断面が極小のため、大雨時は冠水の常習地帯であるため、ほ場保全のうえからも早急な対応が望まれる。 県営ほ場整備事業津名地区(S57~H6)実施時の脱落地であったが、世代交代が進み40~50代が中心となって地域の将来計画を検討する中で、ほ場整備の実施と合わせ集落営農に対し意欲的な取り組みが行われている。				
(2)有効性・効率性	投資効率1.25、所得償還率16.1%、所得指数124(基準指数50)であり、事業として効果は十分に期待でき、農家負担の償還についても可能である。 同意率 100%(30/30)				
(3)環境適合性	予定地域内に交流広場の空間をとり、桜やさざんか等の花木を植栽する計画である。				
(4)優先性					
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		